

令和 2 年度 倫理委員会活動開始に向けての経緯報告

はじめに

2020 年 1 月に中国武漢市で発生した新型コロナウイルスが日本においても急激な感染拡大が起こり現在も深刻な状態が続いている。倫理委員会では北海道本部と相談し委員会研究 WG、幹事会、技術者倫理フォーラム等の各行事について 3 月から現在までその時々々の情報に合わせて開催に向けた検討を行ってきたのでその経緯を報告する。また倫理研究会発足時から倫理委員会発展に多大な功労を残された元委員長の佐崎雅史氏を追悼します。

1. 新型コロナウイルスについて

新型コロナウイルスに関して、道内では 1 月 28 日に第 1 例目の感染者が確認、2 月末に北見市内展示会でクラスターが確認され大きな衝撃を受けたのを記憶している。北海道では週末外出自粛要請の緊急事態宣言を 2 月末から 3 月中旬まで各週行い第 1 波を押さえ込み 3 月 19 日には宣言を解除した。

しかし感染者の急激な拡大が進み国により 4 月 7 日に緊急事態宣言が特定警戒地域として 7 都府県に発令され、16 日に北海道を含む 13 都道府県に拡大、同時に全国に緊急事態宣言が拡大され 5 月 25 日まで続いた。しかしその後も多数の感染者が続出している。

この影響で委員会活動は令和元年度第 6 回研究 WG を 2 月 10 日に開催した後は 3 密を避ける為工夫を重ねながら令和 2 年度の活動方針を議論してきた。

2. 令和 2 年度臨時幹事会の開催

令和 2 年度臨時幹事会を 3 月 25 日(水)に 3 密を避ける為に日下部委員長、佐々木幹事長、花田相

談役の 3 人のみで中大実業(株)で開催。今後の倫理委員会の活動方針について協議した。

(1) 4 月 13 日開催予定の定例研究 WG について
・現状では研究 WG を開催するのは困難であるとの認識であるが、4 月 6 日頃までの社会情勢が会議等を開催しても良いという雰囲気であれば開催する。

(2) 6 月 25 日開催予定の技術者倫理フォーラムについて

・フォーラム開催の中止は現時点で考えない。新型コロナの影響が収まっているようであれば予定通り開催する。但し、新型コロナ対策を行う(情報交換会の中止、時間の短縮、座席間隔の配慮等)

尚、新型コロナの影響が残っているようであれば開催を延期するか否かの判断を 5 月中旬～下旬に行い日程調整を行う。

・会場のポールスター札幌に確認したところ、このような情勢であればキャンセル料はとらない方針とのこと。

・フォーラムを開催する場合は 6 月の研究 WG を開催するが、開催準備や運営、発表者だけの 10 名程度の少人数で開催しフォーラム準備を行う。

・フォーラムは時間を短縮して行う。構成は基調講演と事例研究発表 1 例の 2 題とする。基調講演は 60 分～ 80 分ぐらいの時間設定が可能である。

・基調講演は北海道大学大学院情報科学研究院准教授の山下倫央氏から快諾を頂き「AI と倫理」のテーマを予定。

3. インターネット上の掲示板機能のある「Slack」を利用した幹事会開催

4 月～6 月は Slack を利用して適宜幹事会を開催し結果を以下のようにメールにて各委員に連絡した。

- ・4/7 メール：4 月 13 日(月) 予定の令和 2 年度第 1 回研究 WG は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止します。現在のところ、これ以降の定例研究 WG の開催等については未定ですが、技術者倫理フォーラムについては極力中止せずに開催時期の変更や時間短縮などの措置を講じて開催したいと考えています。

- ・5/22 メール：第 11 回技術者倫理フォーラム 6/25 予定について、技術士第二次試験の実施が 9 月以降に延期した事、及び北海道本部及び統括本部通達等も踏まえて技術者倫理フォーラム 6/25 開催は厳しいと判断し延期したいと考えています。

- ・6/2 メール：6 月 8 日(月) 開催予定の第 2 回研究 WG は中止します。

4. 令和 2 年度第 1 回幹事会の開催

令和 2 年度第 1 回幹事会を 7 月 10 日(金)に中大実業(株)にて 6 名の参加で開催し、この時点での方針を以下のように決定した。

また 3 密対策として長テーブルに 1 人着席での口の字型式と換気、マスク着用を行う。

(1) 技術者倫理フォーラムについて

基調講演の山下先生の都合は 11 月、12 月頃が良いとの事であるが、本部の意向や参加者の確保、道内の新感染者の発生状況等を考慮して 9 月初旬に再度検討する。ポールスター札幌会場の混み具合を 50%程度にすると参加者は 70 名程度となる。

(2) 定例研究 WG 開催について

- ・8 月 4 日(火) 予定の令和 2 年度第 3 回研究 WG は新型コロナウイルスへ感染症拡大防止への対応のため中止とし、各委員にメールにて連絡する。

- ・10 月以降の開催は本部の意向や他の委員会の開催状況を参考にして検討する。

- ・会場設定について、開催する場合は 3 密を避ける会場が必要であり委員所属の会社会議室の開催は難しくなる可能性がある。

- ・事例研究は「技術者の倫理入門」第 5 章倫理実行の手法が終了した所である。

- ・今後はテーマの選定と議論の仕方を再検討し、委員からの積極的な意見を引き出す方法を考える。

- ・研究テーマ発表後の議論の活性化を目指してどのような講演資料を作るか？ 参加型にするにはどうしたら良いか？等 検討が必要である。

- ・委員の日頃思っている倫理的内容や身の回りの科学技術問題をテーマにしたミニ講演会を定例化してはどうか？

- ・志向倫理に関する若手研究会の活動は従来通り継続する。

- ・10 月以降の定例研究 WG の開催が出来ない場合、インターネット上の掲示板機能がある Slack を利用した定例研究 WG の進め方も検討する。

例として下記のような会議開催の方法を検討する。

例) 定員 5 ～ 10 名程度の小規模 WG を複数設置し、各 WG で議論するテーマを設定し、年 6 回程度の活動を行い、委員会全体で集まる定例会の回数を年 1 回程度に減ずる。小規模 WG や委員全体での Web 上での議論ができるように Slack を用いる。

- ・今後の委員会の運営方法についてのアンケートを実施すると共に Slack への招待メールを各委員に送付する。

(3) 元委員長佐崎雅史氏の追悼について

追悼文を次号のコンサルタンツ北海道 152 号に掲載する。担当は花田相談役とする。

5. おわりに

次回、第 2 回幹事会は 9 月初旬に中大実業(株)で開催する。